

平成24年9月期 決算説明会 (第2四半期)

 OKUMURA CORPORATION

平成24年11月9日開催

決算説明会の内容

- 1 挨拶
代表取締役社長 奥村 太加典
- 2 決算及び業績予想の概要説明
代表取締役専務執行役員
管理本部長 平子 高育
- 3 決算及び業績予想の詳細説明
管理本部経理部長 田中 敦史



挨拶

代表取締役社長 奥村 太加典

 **OKUMURA CORPORATION**

決算及び業績予想の概要説明

代表取締役専務執行役員
管理本部長 平子 高育

 **OKUMURA CORPORATION**

連結決算の概要

(単位：百万円)

	23/9期	24/9期		
	実績	予想	実績	増減
売上高	83,258	99,900	82,696	▲17,204
営業利益	285	▲50	▲1,325	▲1,275
経常利益	1,202	800	1,020	220
四半期純利益	946	750	336	▲414



 OKUMURA CORPORATION

《主なポイント》

- ・ **売上高は予想より17,204百万円減少**
 - ⇒ 建築の進行基準適用工事の進捗率の低下や土木の完成基準適用工事の工期が延びたことによるもの
- ・ **営業損失は予想より1,275百万円悪化**
 - ⇒ 売上高の減少のほか、土木の一部工事の採算が悪化したこと等により、売上総利益が1,486百万円減少
 - ⇒ 一般管理費は211百万円減少
- ・ **経常利益は予想より220百万円改善**
 - ⇒ 貸倒引当金戻入額 1,695百万円を営業外収益に計上
- ・ **四半期純利益は予想より414百万円悪化**
 - ⇒ 投資有価証券評価損 485百万円を特別損失に計上



 OKUMURA CORPORATION

＜参考＞ 受注高（個別）

（単位：百万円）

	23/9期	24/9期		
	実績	予想	実績	前期比
土木	18,908	35,000	28,760	52.1%
官公庁	11,141	27,000	23,916	114.7%
民間	7,766	8,000	4,844	▲37.6%
建築	35,856	45,000	53,702	49.8%
官公庁	5,391	10,000	23,533	336.5%
民間	30,464	35,000	30,168	▲1.0%
合計	54,764	80,000	82,462	50.6%



 OKUMURA CORPORATION

《主なポイント》

- ・ 土木は前年同期より52.1%増加
 - ⇒ 大型の高速道路トンネル工事を受注
 - ⇒ 東北支店の受注が増加
- ・ 建築は前年同期より49.8%増加
 - ⇒ 大型の官公庁工事を受注



 OKUMURA CORPORATION

連結業績予想の概要

(単位：百万円)

	24/3期	25/3期		
	実績	前回	今回	前期比
売上高	179,284	182,000	182,000	1.5%
営業利益	▲3,939	800	900	—
経常利益	▲2,828	1,900	2,000	—
当期純利益	▲2,958	1,800	1,300	—



OKUMURA CORPORATION

《主なポイント》

・売上高は前回予想と同額

	前回予想	今回予想	増減
建設事業	1,700億円	1,700億円	—
不動産事業等	120億円	120億円	—

・営業利益は前回予想より1億円増加

	前回予想	今回予想	増減
売上総利益	142億円	142億円	—
完成工事総利益	105億円	103億円	▲2億円
不動産事業等総利益	37億円	39億円	+2億円
一般管理費	134億円	133億円	▲1億円

・当期純利益は前回予想より5億円減少

第2四半期に計上した株式の評価損を通期も見込む



OKUMURA CORPORATION

<参考> 受注高予想（個別）

（単位：百万円）

	24/3期	25/3期		
	実績	前回	今回	前期比
土 木	48,661	65,000	65,000	33.6%
官公庁	33,691	50,000	50,000	48.4%
民間	14,969	15,000	15,000	0.2%
建 築	91,378	120,000	120,000	31.3%
官公庁	18,564	25,000	40,000	115.5%
民間	72,813	95,000	80,000	9.9%
合 計	140,039	185,000	185,000	32.1%



 OKUMURA CORPORATION



 OKUMURA CORPORATION

決算及び業績予想の詳細説明

管理本部経理部長 田中 敦史

 OKUMURA CORPORATION

平成24年9月期 決算説明会

連結決算の詳細

- ◇ 連結貸借対照表
 - ・ 資産、負債、純資産
 - ・ 個別貸借対照表との比較
- ◆ 連結損益計算書
 - ・ 売上高、売上総利益、一般管理費、営業外収支
特別損益、営業利益、経常利益、四半期純利益
 - ・ 個別損益計算書との比較
- ◇ 連結キャッシュ・フロー計算書



 OKUMURA CORPORATION

◇連結貸借対照表

(単位：百万円)

	24/3期	24/9期	増減		24/3期	24/9期	増減
	実績	実績			実績	実績	
流動資産	145,178	139,721	▲5,457	流動負債	95,085	93,342	▲1,742
現金預金	16,624	23,162	6,538	支手・工事未払等	46,397	40,250	▲6,146
受手・完工未収等	88,491	68,947	▲19,544	短期借入金	11,160	14,740	3,579
有価証券	9,999	17,299	7,299				
固定資産	71,677	72,322	645	固定負債	10,056	10,477	421
有形固定資産	28,234	32,311	4,076	長期借入金	154	2,143	1,989
無形固定資産	285	287	1	負債合計	105,141	103,820	▲1,321
投資その他の資産	43,156	39,723	▲3,433	純資産	111,714	108,223	▲3,490
投資有価証券	42,357	38,981	▲3,375	その他有価証券評価差額金	9,655	7,630	▲2,025
資産合計	216,856	212,044	▲4,811	負債純資産合計	216,856	212,044	▲4,811



OKUMURA CORPORATION

《主な増減理由》

『有形固定資産』

- ・ 賃貸不動産を約42億円で購入したこと等による増加

『投資有価証券』

- ・ 前期末より含み益が減少 ▲2,795百万円
(前期末13,861百万円⇒11,065百万円)
- ・ 投資有価証券評価損 ▲485百万円



OKUMURA CORPORATION

《個別貸借対照表との比較》

(単位：百万円)

	24/9期		差額		24/9期		差額
	連結	個別			連結	個別	
流動資産	139,721	138,437	1,283	流動負債	93,342	91,881	1,461
受手・完工未収等	68,947	66,926	2,020	支手・工事未払等	40,250	39,616	633
販売用不動産	528	528	—				
	(2,058)	(2,058)	(—)				
固定資産	72,322	70,013	2,308	固定負債	10,477	10,279	198
有形固定資産	32,311	26,821	5,490	負ののれん	141	—	141
無形固定資産	287	286	1				
投資その他の資産	39,723	42,906	▲3,182	負債合計	103,820	102,160	1,660
資産合計	212,044	208,451	3,592	純資産	108,223	106,291	1,932
				負債純資産合計	212,044	208,451	3,592

※ ()内は24/3期の数値を表示している。



《主なポイント》

『販売用不動産』

- ・ 前期までに太平不動産の保有分を全て売却。

『連結子会社の資産合計・純資産』

	奥村機械製作	太平不動産
・ 資産合計	3,830百万円	5,463百万円
・ 純資産	1,829百万円	543百万円



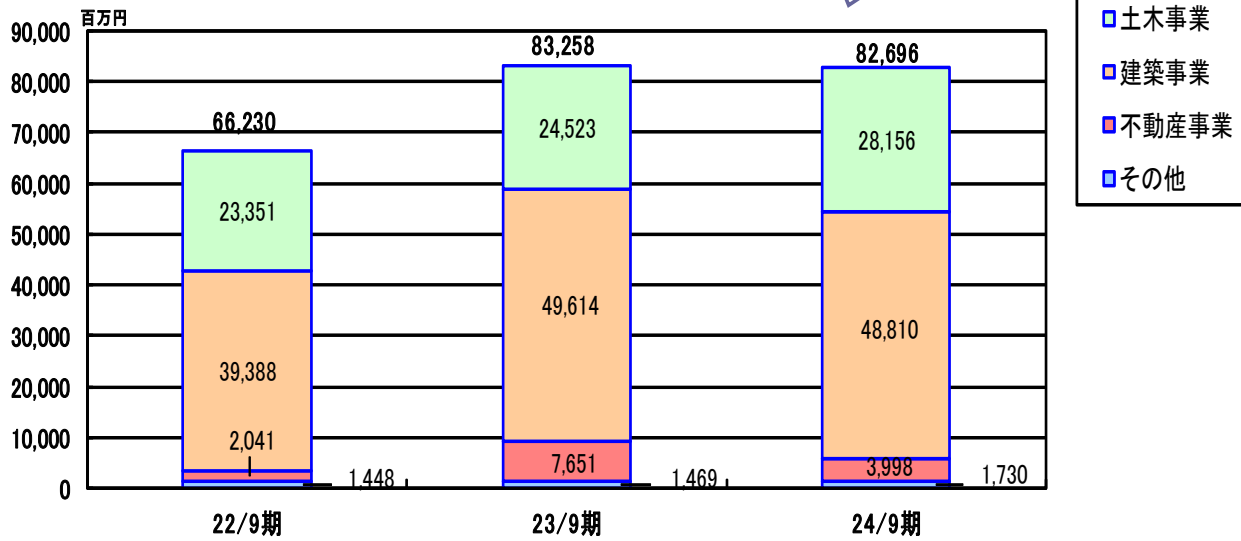
◆連結損益計算書

～売上高～

《建設事業》

完成工事高の前年同期比

土木 + 3,632百万円 (+14.8%)
 建築 ▲ 803百万円 (▲ 1.6%)
 合計 + 2,828百万円 (+ 3.8%)



《売上高の主なポイント》

建設事業

・ 進行基準適用工事の売上高

土木 25,218百万円 建築 46,660百万円 合計 71,878百万円

・ 完成基準適用工事の売上高

土木 2,937百万円 建築 2,150百万円 合計 5,088百万円

不動産事業等

・ 売上高内訳

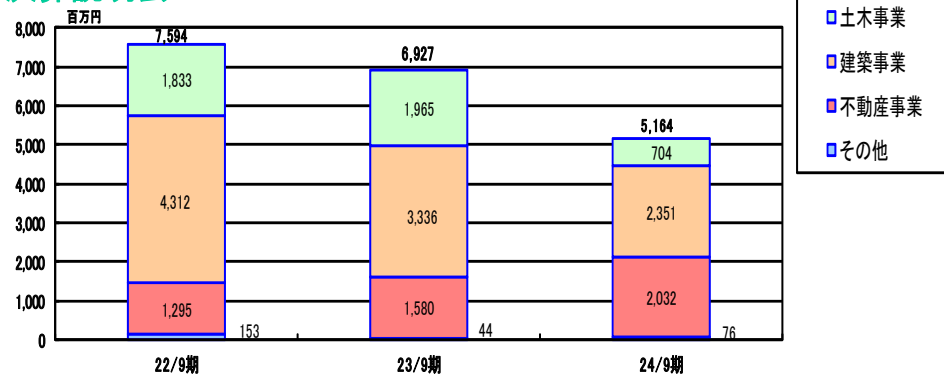
	23/9期	24/9期	増減
販売	5,981百万円	2,235百万円	▲3,746百万円
賃貸他	1,669百万円	1,763百万円	94百万円
その他	1,469百万円	1,730百万円	261百万円
計	9,120百万円	5,729百万円	▲3,391百万円



平成24年9月期 決算説明会

～売上総利益～

《売上総利益額》



《売上総利益率》



《不動産事業等》

(単位：百万円)

	23/9	24/9	増減
販売	343	680	336
(5.7%)	(30.4%)		
賃貸他	1,236	1,352	115
(74.1%)	(76.7%)		
不動産計	1,580	2,032	452
(20.7%)	(50.8%)		
その他	44	76	31
(3.1%)	(4.4%)		
合計	1,625	2,108	483
(17.8%)	(36.8%)		



平成24年9月期 決算説明会

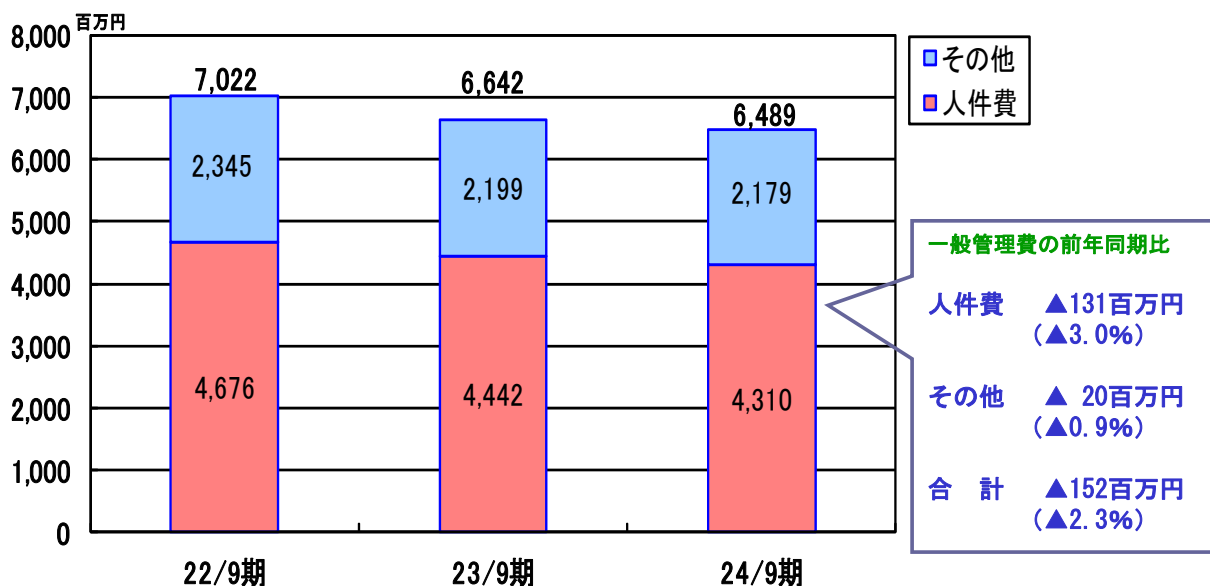
《売上総利益の主なポイント》

建設事業

- ・ 土木は、赤字に転じる可能性のある特定の工事の損失等を保守的に見込む
- ・ 建築は、第1四半期の外注労務費の高騰の影響等により、首都圏の一部の工事で赤字が増加したものの、第2四半期には改善している
- ・ 工事損失引当金
 - 土木 ⇒ 184百万円減少 (2,469百万円⇒2,284百万円)
 - 工事完成によるもの ▲793百万円
 - 引当不足によるもの +609百万円
 - 建築 ⇒ 476百万円減少 (1,890百万円⇒1,414百万円)
 - 工事完成によるもの ▲892百万円
 - 引当不足によるもの +416百万円



～一般管理費～



～営業外収支～

(単位：百万円)

	22/9期	23/9期	24/9期	
	実績	実績	実績	増減
営業外収益	921	1,018	2,660	1,642
受取利息配当金	594	583	714	131
貸倒引当金戻入額	—	153	1,695	1,541
営業外費用	133	101	314	213
支払利息	95	88	86	▲1
営業外収支	787	917	2,346	1,428
金融収支	499	494	627	133



平成24年9月期 決算説明会

～特別損益～

(単位：百万円)

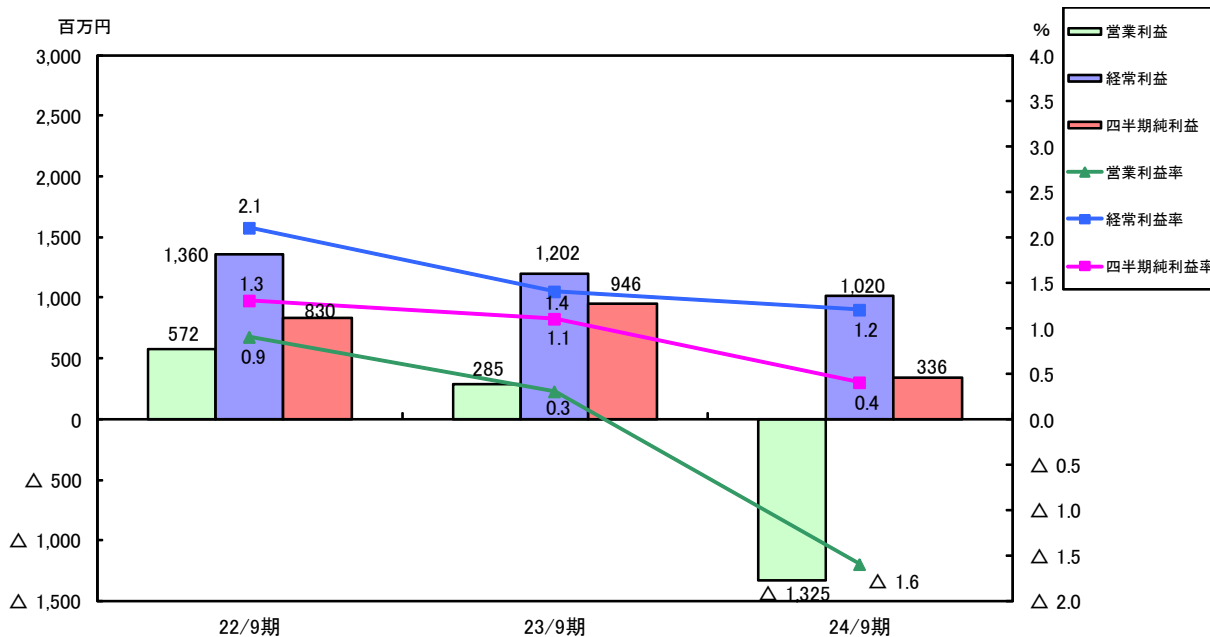
	22/9期	23/9期	24/9期	
	実績	実績	実績	増減
特別利益	408	7	0	▲7
前期損益修正益	28	—	—	—
貸倒引当金戻入額	347	—	—	—
特別損失	879	210	590	379
前期損益修正損	54	—	—	—
投資有価証券評価損	711	198	485	287
関係会社株式評価損	—	—	103	103
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	111	—	—	—
特別損益	▲470	▲203	▲590	▲386



OKUMURA CORPORATION

平成24年9月期 決算説明会

～営業利益、経常利益及び四半期純利益～



OKUMURA CORPORATION

《個別損益計算書
との比較》

	24/9期				
	連結		個別		差額
売上高	82,696	100%	81,204	100%	1,491
建設事業	76,966		76,966		—
不動産事業等	5,729		4,237		1,491
売上総利益	5,164	6.2%	4,989	6.1%	175
建設事業	3,055	4.0%	3,051	4.0%	4
不動産事業等	2,108	36.8%	1,938	45.7%	170
一般管理費	6,489	7.8%	6,335	7.8%	154
営業利益	▲1,325	▲1.6%	▲1,345	▲1.7%	20
営業外収益	2,660	3.2%	2,916	3.6%	▲255
営業外費用	314	0.4%	279	0.3%	35
経常利益	1,020	1.2%	1,291	1.6%	▲270
特別利益	0	0.0%	0	0.0%	—
特別損失	590	0.7%	590	0.7%	0
税金等調整前四半期純利益	430	0.5%	701	0.9%	▲270
法人税等	94	0.1%	55	0.1%	39
四半期純利益	336	0.4%	645	0.8%	▲309

OKUMURA CORPORATION

《主な差額理由》

『連結子会社の売上高・営業利益・経常利益・四半期純利益』

	奥村機械製作	太平不動産
・売上高	1,559百万円	221百万円
・営業利益	▲123百万円	138百万円
・経常利益	▲151百万円	98百万円
・四半期純利益	▲152百万円	59百万円

OKUMURA CORPORATION

◇連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	22/9期	23/9期	24/9期	
	実績	実績	実績	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,321	11,612	14,486	2,873
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲655	▲15,845	▲6,408	9,436
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲140	▲1,839	3,772	5,612
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲47	▲58	▲12	45
増減額	9,478	▲6,130	11,837	17,968
現金及び現金同等物の期首残高	27,831	34,720	24,520	▲10,200
現金及び現金同等物の 四半期末残高	37,309	28,590	36,358	7,767



連結業績予想の詳細

◇25/3期 連結損益計算書

(単位：百万円)

	24/3期		25/3期			
	実績		今回	増減	前回	
売上高	179,284	100%	182,000	100%	2,716	182,000
土 木	58,814		65,000		6,186	65,000
建 築	105,051		105,000	▲51		105,000
建設事業計	163,865		170,000	6,135		170,000
不動産事業等	15,419		12,000	▲3,419		12,000
売上総利益	12,231	6.8%	14,200	7.8%	1,969	14,200
土 木	4,526	7.7%	4,000	6.2%	▲526	5,000
建 築	4,796	4.6%	6,300	6.0%	1,504	5,500
建設事業計	9,322	5.7%	10,300	6.1%	978	10,500
不動産事業等	2,909	18.9%	3,900	32.5%	991	3,700
一般管理費	16,171	9.0%	13,300	7.3%	▲2,871	13,400
営業利益	▲3,939	▲2.2%	900	0.5%	4,839	800

<建設事業>

売上高

(単位：百万円)		
進行基準適用工事	土木	53,000
	建築	97,500
完成基準適用工事	土木	12,000
	建築	7,500

<不動産事業等>

[]は前回予想

(単位：百万円)		
	売上高	売上総利益
販 売	3,000 [2,700]	1,000 (33.3%) [700]
賃貸他	3,300 [3,500]	2,500 (75.8%) [2,600]
計	6,300 [6,200]	3,500 (55.6%) [3,300]
その他	5,700 [5,800]	400 (7.0%) [400]
計	12,000 [12,000]	3,900 (32.5%) [3,700]

<一般管理費>

(単位：百万円)		
人件費	24/3 8,700	25/3 8,700



《25/3期 連結損益計算書続き》

(単位：百万円)

	24/3期		25/3期			
	実績		今回	増減	前回	
営業外収益	1,450	0.8%	1,500	0.8%	50	1,300
営業外費用	339	0.2%	400	0.2%	61	200
経常利益	▲2,828	▲1.6%	2,000	1.1%	4,828	1,900
特別利益	7	0.0%	0	0.0%	▲7	—
特別損失	354	0.2%	600	0.3%	246	—
税金等調整前 当期純利益	▲3,175	▲1.8%	1,400	0.8%	4,575	1,900
法人税等	▲217	▲0.2%	100	0.1%	317	100
当期純利益	▲2,958	▲1.6%	1,300	0.7%	4,258	1,800



《個別業績予想
との比較》

	25/3期				
	連結		個別		差額
売上高	182,000	100%	177,000	100%	5,000
建設事業	170,000		170,000		—
不動産事業等	12,000		7,000		5,000
売上総利益	14,200	7.8%	13,500	7.6%	700
建設事業	10,300	6.1%	10,300	6.1%	—
不動産事業等	3,900	32.5%	3,200	45.7%	700
一般管理費	13,300	7.3%	13,000	7.3%	300
営業利益	900	0.5%	500	0.3%	400
営業外収益	1,500	0.8%	1,600	0.9%	▲100
営業外費用	400	0.2%	400	0.2%	—
経常利益	2,000	1.1%	1,700	1.0%	300
特別利益	0	0.0%	0	0.0%	—
特別損失	600	0.3%	600	0.4%	—
税金等調整前当期純利益	1,400	0.8%	1,100	0.6%	300
法人税等	100	0.1%	100	0.0%	—
当期純利益	1,300	0.7%	1,000	0.6%	300


OKUMURA CORPORATION

平成24年9月期 決算説明会

～ END ～

人と自然を、技術でむすぶ。

奥村組

OKUMURA CORPORATION

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。